

エコアクション21環境活動レポート 2014

株式会社 武揚堂

対象期間 2013年10月～2014年9月

発行年月日 2014年10月31日

## 1. 組織の概要と対象範囲

### (1) 企業名および代表者

株式会社武揚堂 代表取締役 小島 武也

### (2) 所在地

本社 : 東京都中央区日本橋3-8-16 (TEL: 03-3271-2451)  
目黒事業所 : 東京都目黒区碑文谷1-3-25 (TEL: 03-3714-7431)  
大阪支店 : 大阪府大阪市中央区内本町1-2-13 (TEL: 06-6941-4911)  
北陸営業所 : 新潟県新潟市江南区東船場3-2-3 (TEL: 025-382-6331)  
仙台営業所 : 宮城県仙台市青葉区二日町13-30 (TEL: 022-222-8781)

### (3) 会社ホームページ

<http://www.buyodo.co.jp>

### (4) 環境管理責任者氏名および連絡先

環境管理責任者 緑川 浩紀 (TEL: 03-3714-7431)

### (5) 事業活動の内容

地図印刷、一般印刷、現地調査、電子地図作成、屋外広告施工、Web制作

### (6) 認証・登録の対象範囲

株式会社 武揚堂を対象範囲とする

### (7) 対象範囲拡大の方針およびスケジュール

認証登録後、初回更新審査時に、本社、大阪支店、北陸営業所を含む全事業所に認証・登録の対象範囲を拡大した。

事業所	従業員数	主な事業活動	認証・登録
本社	0名	※登記上の本社所在地であるが、現在実質的な本社機能は目黒事業所にある	対象
目黒事業所	61名	本社機能(代表者が常駐)、営業、制作、製造、車両7台	対象
大阪支店	10名	営業、制作	対象
北陸営業所	5名	営業、制作、車両2台	対象
仙台営業所	4名	営業、車両2台	対象

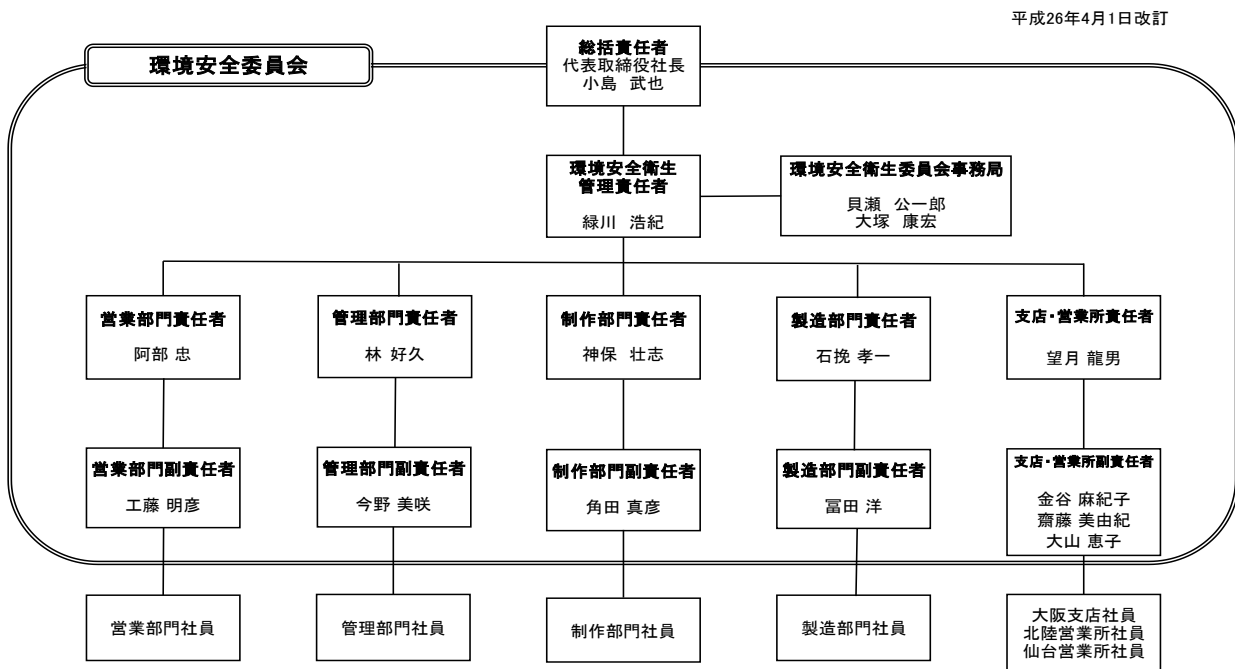
※従業員数は平成26年9月30日現在

【14-A-1】環境活動レポート

(8) 事業規模

売上高 10.1 億円(平成 25 年 9 月度現在)  
 従業員数 80 名(正社員 71 名、パートタイマー・アルバイト社員 9 名)  
 敷地面積 2022.34 m<sup>2</sup>  
 (本社：145.83 m<sup>2</sup>、目黒事業所：1593.51 m<sup>2</sup>、大阪支店：117.35 m<sup>2</sup>、  
 北陸営業所：77.13 m<sup>2</sup>、仙台営業所：88.52 m<sup>2</sup>)  
 車両台数 11 台  
 主要設備 オフセット印刷機、各種 DTP 用端末、大型インクジェットプリンター など

(9) 実施体制図および役割



社長	環境方針を策定する
	EA21の実行に必要な資源(人・物・金・情報)を用意する
	環境管理責任者を任命する
	EA21の全体的な取組状況を評価し、見直し、必要な指示を行う
環境管理責任者	環境経営システムを構築し維持する
	環境経営システムの構築・運用状況を社長に報告する
事務局	環境活動の予実管理を行い、数値のとりまとめを行う
	EA21委員会を開催する
	環境活動レポートを取りまとめ、作成する
環境安全衛生委員会	原則として月1回開催し、実施状況の確認と必要な措置を検討する
	全体的な見直しのために必要なデータを集計する
EA21各部門正副責任者	自部門の環境教育を推進する
	自部門の環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践し推進する
社員	EA21部門責任者の管理・指導の下、環境活動を推進する

## 【14-A-1】環境活動レポート

### (10) 環境活動レポートの公表の方法

- ① 当社ホームページに掲載し、公表します。
- ② 当社支店・事業所に書面で備え付け、閲覧に供します。
- ③ エコアクション 21 中央事務局ホームページに掲載し、公表します。

## 2. 環境方針

### 環境保全の理念

株式会社武揚堂は、今ある命と今後生まれくる命の為に、今ある地球環境をよりよい状態で次の世代に引き継ぐことが持続企業の使命の一つであることを深く認識し、今よりも更に豊かで安全な地球環境の実現に寄与するよう努めます。

### 環境行動指針

当社は地図印刷を主体とし、一般総合印刷、グラフィックサイン、GIS などを用いて顧客の問題を解決する事を事業活動としています。この事業活動を営むにあたり、以下の行動指針を定めます。

- ① 製品の企画・設計、原材料の調達、製品の製造から出荷、リサイクルおよび営業活動まで、環境に対する影響を常に配慮します。
- ② 環境目標を設定して環境負荷削減に取り組み、継続的改善を図ります。
- ③ 二酸化炭素排出量削減(省エネルギー)を推進します。
- ④ 廃棄物の削減とリサイクル活動を推進します。
- ⑤ 総排水量削減を推進します。
- ⑥ 化学物質の適正管理を推進します。
- ⑦ 事務用品や原材料のグリーン購入を推進します。
- ⑧ エコプリンティングを推進します。
- ⑨ 関係する環境関連の法律、条例を遵守します。
- ⑩ 環境教育、掲示物を通して全従業員の環境意識の向上に努め、近隣及び社会との環境の調和を図ります。

平成 22 年 8 月 1 日

代表取締役 小島 武也

### 3. 環境目標と活動計画

#### 当期目標

施行期間を 2012 年 10 月～2013 年 9 月とし、その目標設定の為に基準年を 2009 年 10 月～2010 年 9 月とした。目標設定は全社での数値記載となっている。

目標数値に関しては中期で固定しているため、その数値を使用することとしている。

#### (1) 二酸化炭素削減

総エネルギー消費量の削減を行うため、下記活動を継続的に実施する。

##### ① 電力量削減

- ・ 電力使用量の把握(請求書より計算)
- ・ 昼休み時の消灯
- ・ エアコン温度の適正化(夏季 27℃・冬季 21℃)
- ・ PC 使用台数の削減
- ・ 印刷機を同時に立ち上げないなど、印刷機の適正運転管理

##### ② ガソリン使用量削減

- ・ ガソリン使用量の把握(請求書より把握)
- ・ エコドライブの促進(運行記録より把握・教育)

	2012 年 10 月～ 2013 年 9 月実績		2013 年 10 月～ 2014 年 9 月目標	
	消費量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	消費量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )
電力量(kW/h)	402,702	170,749	458,462	194,260
ガソリン(ℓ)	33,024	76,615	31,436	72,933
都市ガス(m <sup>3</sup> )	498	1,103	3,053	6,749
CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	-	248,467	-	273,941

#### 【エネルギーの CO<sub>2</sub> 排出係数】

エネルギーの CO<sub>2</sub> 排出係数については、電力については環境省 HP に掲載されている「平成 20 年度の電気事業者別実排出係数・調整後排出係数等の公表について (お知らせ)」

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11956>)より事業者ごとに最新年度の数値を引用して計算する。

都市ガスについては各事業者のホームページより最新年度の数値を引用して計算する。ガソリンに関し

## 【14-A-1】環境活動レポート

ては環境省 HP に掲載されている「参考資料 温室効果ガス排出係数（デフォルト値）」”2.32kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>”を引用して計算する([http:// www.env.go.jp/earth/ondanka/suishin\\_g/08.pdf](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/suishin_g/08.pdf))。

### 本社・目黒事業所

**電 力:**平成 20 年度東京電力値:0.418kg- CO<sub>2</sub>/kWh を使用

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11956>)

**都市ガス:**東京ガス都市ガスの CO<sub>2</sub>排出係数:2.21kg- m<sup>3</sup>を使用

(<http://www.tokyo-gas.co.jp/env/data/category02.html>)

### 大阪支店

**電 力:**平成 23 年度関西電力値:0.414kg- CO<sub>2</sub>/kWh を使用

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15912>)

**都市ガス:**使用せず

### 北陸営業所

**電 力:**平成 23 年度北陸電力値:0.546kg- CO<sub>2</sub>/kWh を使用

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15912>)

**都市ガス:**平成 23 年度北陸ガス値 2.21kg- CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>を使用

([http://www.hokurikugas.co.jp/company/environment/calorific\\_value.html](http://www.hokurikugas.co.jp/company/environment/calorific_value.html))

### 仙台営業所

**電 力:**平成 23 年度東北電力値:0.546kg- CO<sub>2</sub>/kWh を使用

(<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15912>)

**都市ガス:**平成 23 年度仙台市ガス値 2.29kg- CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>を使用

(<http://www.gas.city.sendai.jp/faq/index.php#about02>)

## (2) 廃棄物削減

資源浪費の防止とリサイクルを推進するため、廃棄物削減に関して下記活動を継続的に実施する。

- ・ 廃棄物排出量の把握(マニフェストから把握)
- ・ 分別の徹底
- ・ コピー用紙リサイクルの推進(シュレッダー使用の原則禁止)
- ・ 損紙の削減(予備紙・校正紙の使用枚数適正化、不良率の削減)
- ・ 資材(インキ、溶剤、現像液、湿し水)の適正使用・管理による廃棄物としての排出削減

目標値は、2009 年 10 月～2010 年 9 月実績を基準とし、中期計画で目標数値を設定したものを使用している。

【14-A-1】環境活動レポート

種別	※単位は kg	2012年10月～ 2013年9月実績	2013年10月～ 2014年9月目標
事業系一般廃棄物	一般廃棄物(生ゴミ等)	7,050	19,318
産業廃棄物	金属くず	638	197
	廃油	1,584	2,655
	廃フィルム	40	2,741
	廃プラ	11,782	3,445
	廃酸	791	1,048
	廃アルカリ	392	484
特別管理産業廃棄物	廃強アルカリ※	555	3,988

※特別管理産業廃棄物は、刷版現像に使用する現像機の廃液である。

(3) 総排水量削減

総排水量(生活用水)の削減のため、下記活動を継続的に実施する。

- ・ 総排水量の把握(請求書より把握\*)

※単位はm <sup>3</sup>	2012年10月～ 2013年9月実績	2013年10月～ 2014年9月目標
総排水量	967	1,079

(4) 化学物質の管理

化学物質の適正管理および使用量の把握を行うため、下記活動を実施する。

- ・ SDSの取得・保管
- ・ 化学物質(PRTR対象物質)使用量の把握
- ・ 環境負荷の低い化学物質を使用する資材への変更の検討

(5) マテリアルフローの把握

資源浪費の防止と生産効率の向上のため、マテリアルフローの把握を下記のマテリアルについて実施する。

- ・ 印刷用紙購入量・使用量の把握(重量に関しては用紙連量÷1,000=用紙1枚あたりの重量(kg)×使用枚数で求める。)
- ・ 刷版購入量・使用量の把握
- ・ インキ購入量・使用量の把握

【14-A-1】環境活動レポート

(6) リサイクルの増大

リサイクルに関しては量を目標とせず、把握に努めることとした。

種別	※単位は kg	2012年10月～ 2013年9月実績	2013年10月～ 2014年9月目標
リサイクル	紙(印刷用紙)	73,294	40,806
	紙(新聞・ダンボール)	7,200	8,500
	紙(雑誌)	2,210	2,250
	紙(その他)	3,390	4,000
	刷版	7,925	8,800

(7) グリーン購入の促進

環境負荷の低減と、環境経営に取り組んでいる企業を支援するため、できるだけグリーン購入法対象製品の購入を促進する。まずは対象品目の把握に努める。

中期目標

全社中期環境目標 (全て総量管理による)

方針	取組	目標(2015年度) 2014年10月～ 2015年9月	目標(2016年度) 2015年10月～ 2016年9月	目標(2017年度) 2016年10月～ 2017年9月	目標(2018年度) 2017年10月～ 2018年9月	目標(2019年度) 2018年10月～ 2019年9月
CO2の削減	電気使用量の削減(kw)	375,905	372,146	368,424	364,740	361,093
	ガソリン使用量の削減(l)	31,600	31,284	30,971	30,661	30,355
	ガス使用量の削減(m <sup>3</sup> )	2,997	2,967	2,937	2,908	2,879
リサイクル	紙(印刷用紙)	72,000	71,280	70,567	69,862	69,163
	紙(新聞・段ボール)	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
	紙(雑誌)	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
	紙(その他)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	刷版(kg)	8,400	8,316	8,233	8,151	8,069
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	6,700	6,633	6,567	6,501	6,436
	金属くず(kg)	600	594	588	582	576
	廃油の削減(kg)	420	416	412	408	403
	廃フィルムの削減(kg)	1,000	990	980	970	961
	廃プラの削減(kg)	10,800	10,692	10,585	10,479	10,374
	廃酸の削減(kg)	780	772	764	757	749
	廃アルカリの削減(kg)	420	416	412	408	403
	廃強アルカリの削減(kg) (特別管理産業廃棄物)	560	554	549	543	538
水使用量の削減	総使用水量の削減(l)	931	922	912	903	894

※2015年度より基準年より5ヶ年が経過したため過去2年度(平成12年度、平成13年度)の平均値に基づき新たな5ヶ年計画の基準となる目標値を作成した。



#### 4. 実績と評価

##### (1) 認証・登録に向けての取り組み経緯

現在世界的に環境に対する企業活動の影響について注目されることが多くなり、環境への対応を怠ること自体が企業存続のリスクとなってきた。また、企業活動は地球やそこに存在する生命から恵みを与えられ、かつ多大な影響を与えている。

経営上のリスクを減少させ、今ある地球環境を次の世代にもよりよい形でつないでいく為、さらに企業と生きとし生けるものとの共存・共栄を図るためにも、環境マネジメントの導入が必要であると判断した。

2009年10月～2010年9月までを基準年として削減率をかけて目標とし、2013年10月～2014年9月の施行結果に対する評価を行い、本レポートを取りまとめた。

##### (2) 環境負荷の実績

###### ① 総エネルギー量削減（CO<sub>2</sub>排出量対比）

	2013年10月～2014年9月 目標		2013年10月～2014年9月 実績		削減率
	消費量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	消費量	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	
電力量(kw/h)	458,462	194,260	363,827	154,305	21%
ガソリン(ℓ)	31,436	72,933	33,998	78,875	-22%
都市ガス(m <sup>3</sup> )	3,053	6,749	501	1,109	84%
CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	—	273,941	—	234,289	15%

###### ② 廃棄物削減

種別	※単位は kg	2013年10月～ 2014年9月 目標	2013年10月～ 2014年9月 実績	削減率
一般産業廃棄物	一般産業廃棄物(生ごみ等)	19,318	6,650	66%
産業廃棄物	金属くず	197	443	-125%
	廃油	2,655	719	73%
	廃フィルム	2,741	75	97%
	廃プラ	3,445	11,490	-233%
	廃酸	1,048	847	19%
	廃アルカリ	484	318	34%
特別管理産業廃棄物	廃強アルカリ(刷版現像液)	3,988	680	83%

###### ③ 総排水量削減

※単位は m <sup>3</sup>	2013年10月～ 2014年9月 目標	2013年10月～ 2014年9月 実績	削減率
総排水量	1,079	918	15%

【14-A-1】環境活動レポート

④ 化学物質の管理(この報告書では該当化学物質を1リットル以上使用しているものを表示)

PRTR 該当物質(単位はt)	2008年10月～ 2009年9月実績	2009年10月～ 2010年9月実績	2010年10月～2011 年9月実績	2011年10月～ 2012年9月実績	2012年10月～ 2013年9月実績	2013年10月～ 2014年9月実績
ヒドロキノン	13.38	4.67	8.79	12.74	7.35	7.84
キシレン	64.15	75.90	98.66	103.03	23.814	0
1,3,5トリメチルベンゼン	275.4	243.17	130.95	95.4	22.05	0
ナフタレン	5.13	3.82	0	0	0	0
クロロトルエン	249.48	203.28	0	0	0	0
1,1-ジクロロ-1-フルオロエタ ン	58.32	47.52	0	0	0	0
ジクロロペンタフルオロプロ ロパン	11.34	9.24	0	0	0	0
ジクロロメタン	0	2.52	0.84	0.84	0	0
エチルベンゼン	0	0.04	0	0	0	0
ポリニルフェニルエーテ ル	0	0.1	0	0	0	0

※PRTR法の基準とは異なり、弊社独自の視点から下限以下でも把握をしている。

⑤ マテリアルフローの把握(2013年10月～2014年9月)

※単位は kg	購入実績	使用実績	廃棄・リサイクル
印刷用紙	295,929	295,929	69,224
刷版	8,032	7,710	7,788
インキ	2,559	2,559	553

⑥ リサイクルの増大

種別	※単位は kg	2013年10月～ 2014年9月 目標	2013年10月～ 2014年9月 実績	増加率
リサイクル	紙(印刷用紙)	40,806	69,224	70%
	紙(新聞・段ボール)	8,500	5,010	-41%
	紙(雑誌)	2,250	1,330	-41%
	紙(その他)	4,000	2,140	-47%
	刷版	8,800	7,788	-11.5%

⑦ グリーン購入の促進

グリーン購入の基準を設定した。

(3) 環境活動計画の取り組み結果とその評価、前年度の繰り越し状況および次年度の取り組み内容

今年度は、過去の反省に基づき環境マネジメントシステムの社内への浸透及びBCPへの取り組みの具体化と継続を目的とした「環境安全衛生委員会」を4月より立ち上げ月1回の委員会で現状の問題点及び課題等について協議を行い、具体的な取り組みを行っている。次年度についても「環境安全衛生委員会」を中心とした取組みにより社内への環境マネジメントシステム浸透及び行動計画の具体化を図っていく。

【14-A-1】環境活動レポート

昨年度課題	解決状況
エコプリンティングの教育を開始し、顧客への提案を行っていく	昨年同様まだ教育自体が進んでいないということと、実際の提案までいたっていない。
EA21 運営体制の変更	環境安全衛生委員会を組織して取り組んでいる。

今年度は、昨年度に比較して全体的には CO<sub>2</sub> 排出量を 5.0%削減することができた。要因としては、ガソリンの使用量は昨年度に比較して 3.0%ほど増加したが、電気の使用量が 8.3%削減した結果である。環境マネジメントシステムの取り組みが徐々に社内に浸透してきた結果として捉えるのは時期尚早とは思いますが、環境安全衛生委員会による取り組みによる一定の効果は出てきていると思われるので、今後も環境安全衛生委員会による取り組み強化を図っていきたい。

また、全体の CO<sub>2</sub> 排出量が 5.0%削減した反面ガソリンの CO<sub>2</sub> 排出量は昨年度と比較して 3%上昇している。昨年度と比較して車両数は変化していないにもかかわらずガソリンの使用量が増加している要因について分析するとともに、営業エリアの見直しについて今後検討していく。

5. 法令順守

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果

環境法令を当社の関係する主要な関係法令は、以下の通りである。これらの関係法令に基づく管理、規制基準の遵守、届出等の状況を確認した結果、いずれも適切に実施されていると評価した。

法規制等の名称	遵守内容	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物は全て産廃業処理者に委託して処理 排出量はマニフェストにて管理・保管(5年間) 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	遵守
大気汚染防止法	法定基準の遵守	遵守
フロン・回収破壊法	第一種フロン類回収業者への回収委託	遵守
騒音規制法	印刷機の届出・騒音測定 規制基準の遵守	遵守
振動規制法	印刷機の届出 規制基準の遵守	遵守
消防法	自衛消防隊の編成 自衛消防訓練の実施	遵守
PRTR 法	指定化学物質の排出量の把握および届出	遵守
東京都環境確保条例	排出基準の遵守	遵守
目黒区廃棄物の発生抑制、再利用の促進及び適正処理に関する条例	規制基準の遵守	遵守
中央区環境条例		
大阪府生活環境の保全等に関する条例	規制基準の遵守	遵守
大阪市環境基本条例	規制基準の遵守	遵守
新潟県環境基本条例	規制基準の遵守	遵守

## 【14-A-1】環境活動レポート

新潟市環境基本条例	規制基準の遵守	遵守
宮城県環境基本条例	規制基準の遵守	遵守
仙台市環境基本条例	規制基準の遵守	遵守

### (2) 違反、訴訟等の有無

上記関連法規を理解・遵守し運営している。なお、過去3年間関係当局より違反の指摘は無い。また、外部からの苦情及び訴訟も無い。

## 6. 代表者による評価と今後の進め方

### (1) 代表者(社長)による評価

今回は期の途中から運用体制を見直し、環境安全衛生委員会を立ちあげより実効性の高い運用を目指した。各部門の部門長とその構成員の2名体制で委員会を構築した。

予実としては若干の改善を達成することが出来た。ただ、目標自体が基準年をベースとしているため、設備による大幅改善が織り込まれていないので、達成自体は容易な目標であったと考える。

全社的な取り組みがまだまだ甘く他人事のような風潮が強いので、社内全体に浸透させるように人事評価などを利用して仕組みづくりをしていく。

環境マネジメントシステムの戦略的な使い方が出来ていない。具体的には営業での活用がほぼ出来ていない。理由としては教育が進んでいないためであるが、こちらの取り組みを今後行っていく。

### (2) 見直しの結果と今後の進め方

CO2排出量削減に関しては、ガソリン以外の部分ではもう削減が難しくなっているため、原単位管理に進むようにしたい。ただ、中期目標数値が大幅に変更になった為、2015年度は今期と同じ手法で管理し、来年以降の取り組みとしたい。

ガソリンに関しては車両ごとの実平均燃費と Web などユーザーが申告している実燃費を比較するようにしたい。また、走行距離と売上の関連などを調べ、適正な営業が行えるように指導する。

戦略的な環境マネジメントの活用については営業への教育を行うようにする。2015年4月から始めるようにしたい。

ゴミの分別に関しては現状よりも細かく行い、リサイクル資源の増大と廃棄物の減少によるコスト削減を行っていきたい。基本的には現在”廃プラ”とひとまとめにしているところを分別することとなる。

印刷機の稼働についてもピーク電力の削減のために調整しながら運転することとした。エアコンの稼働についても出勤時に一斉につけるのではなく、プログラムを使って自動的に順番につけることとした。

## 【補足資料】

## 各事業所年間目標

方針	取組	2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)					
		全社	目黒事業所	本社(日本橋)	大阪支店	北陸営業所	仙台営業所
CO <sub>2</sub> の削減	電気使用量の削減(kw)	458,462	387,865	31,988	17,570	10,685	10,354
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	31,436	18,171	0	35	6,300	6,930
	ガス使用量の削減(m <sup>3</sup> )	3,053	2,970	0	0	53	30
リサイクル	ヤレ紙の削減(kg)	40,806	40,806	0	0	0	0
	紙(新聞・段ボール)(kg)	8,500	8,500	0	0	0	0
	紙(雑誌)(kg)	2,250	2,250	0	0	0	0
	紙(その他)(kg)	4,000	4,000	0	0	0	0
	刷版(kg)	8,800	8,800	0	0	0	0
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	19,318	19,318	0	0	0	0
	金属くず(kg)	197	197	0	0	0	0
	廃油の削減(kg)	2,655	2,655	0	0	0	0
	廃フィルムの削減(kg)	2,741	2,741	0	0	0	0
	廃プラの削減(kg)	3,445	3,445	0	0	0	0
	廃酸の削減(kg)	1,048	1,048	0	0	0	0
	廃アルカリの削減(kg)	484	484	0	0	0	0
	廃強アルカリの削減(kg) (特別管理産業廃棄物)	3,988	3,988	0	0	0	0
水使用量の削減	総使用水量の削減(ℓ)	1,079	934	104	0	41	0
CO <sub>2</sub> 排出量	電気(CO <sub>2</sub> -kg/kw)	194,260	162,128	13,371	7,274	5,834	5,653
	ガソリン(CO <sub>2</sub> -kg/ℓ)	72,933	42,157	0	81	14,616	16,078
	ガス(CO <sub>2</sub> -Kg/m <sup>3</sup> )	6,749	6,564	0	0	117	69
	合計	273,941	210,848	13,371	7,355	20,567	21,800

※ 数値は2009年10月～2010年9月の実績を基準とする

※2012年度より全社に拡大した為、基準年度の目標数値も遡って全社的に変更した。

## 各事業所昨年度実績

方針	取組	2013年度(2012年10月1日～2013年9月30日)					
		全社	目黒事業所	本社(日本橋)	大阪支店	北陸営業所	仙台営業所
CO <sub>2</sub> の削減	電気使用量の削減(kw)	402,702	331,873	30,301	20,971	9,431	10,126
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	33,024	16,751	0	628	7,839	7,805
	ガス使用量の削減(m <sup>3</sup> )	498	434	0	0	30	34
リサイクル	ヤレ紙の削減(kg)	73,294	73,294	0	0	0	0
	紙(新聞・段ボール)(kg)	7,200	7,200	0	0	0	0
	紙(雑誌)(kg)	2,210	2,210	0	0	0	0
	紙(その他)(kg)	3,390	3,390	0	0	0	0
	刷版(kg)	7,925	7,925	0	0	0	0
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	7,050	7,050	0	0	0	0
	金属くず(kg)	638	638	0	0	0	0
	廃油の削減(kg)	1,584	1,584	0	0	0	0
	廃フィルムの削減(kg)	40	40	0	0	0	0
	廃プラの削減(kg)	11,782	11,782	0	0	0	0
	廃酸の削減(kg)	791	791	0	0	0	0
	廃アルカリの削減(kg)	392	392	0	0	0	0
	廃強アルカリの削減(kg) (特別管理産業廃棄物)	555	555	0	0	0	0
水使用量の削減	総使用水量の削減(ℓ)	967	830	98	0	39	0
CO <sub>2</sub> 排出量	電気(CO <sub>2</sub> -kg/kw)	170,749	138,723	12,666	8,682	5,149	5,529
	ガソリン(CO <sub>2</sub> -kg/ℓ)	76,615	38,863	0	1,456	18,187	18,109
	ガス(CO <sub>2</sub> -kg/m <sup>3</sup> )	1,103	959	0	0	66	78
	合計	248,467	178,545	12,666	10,138	23,403	23,715

## 各事業所今年度実績

方針	取組	2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)					
		全社	目黒事業所	本社(日本橋)	大阪支店	北陸営業所	仙台営業所
CO <sub>2</sub> の削減	電気使用量の削減(kw)	363,827	302,742	23,972	19,129	9,304	8,680
	ガソリン使用量の削減(ℓ)	33,998	17,408	0	450	7,490	8,650
	ガス使用量の削減(m <sup>3</sup> )	501	449	0	0	29	23
リサイクル	ヤレ紙の削減(kg)	69,224	69,224	0	0	0	0
	紙(新聞・段ボール)(kg)	5,010	5,010	0	0	0	0
	紙(雑誌)(kg)	1,330	1,330	0	0	0	0
	紙(その他)(kg)	2,140	2,140	0	0	0	0
	刷版(kg)	7,788	7,788	0	0	0	0
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減(kg)	6,650	6,650	0	0	0	0
	金属くず(kg)	443	443	0	0	0	0
	廃油の削減(kg)	719	719	0	0	0	0
	廃フィルムの削減(kg)	75	75	0	0	0	0
	廃プラの削減(kg)	11,490	11,490	0	0	0	0
	廃酸の削減(kg)	847	847	0	0	0	0
	廃アルカリの削減(kg)	318	318	0	0	0	0
	廃強アルカリの削減(kg) (特別管理産業廃棄物)	680	680	0	0	0	0
水使用量の削減	総使用水量の削減(ℓ)	918	808	70	0	40	0
CO <sub>2</sub> 排出量	電気(CO <sub>2</sub> -kg/kw)	154,305	126,546	10,020	7,919	5,080	4,739
	ガソリン(CO <sub>2</sub> -kg/ℓ)	78,875	40,387	0	1,043	17,377	20,068
	ガス(CO <sub>2</sub> -Kg/m <sup>3</sup> )	1,109	992	0	0	64	53
	合計	234,289	167,925	10,020	8,962	22,521	24,860